

令和5年度春季熊本県高等学校ハンドボール競技大会における
新型コロナウイルス感染症対策についてのガイドライン

熊本県ハンドボール協会高校委員会
熊本県高等学校体育連盟ハンドボール専門部

1 会場への入場について

本大会において、試合会場への入場制限を行わない。選手・役員及び大会関係者のほか、一般の観客の入場を許可する。ただし、すべての関係者（役員・審判員・補助員・顧問・部員・観戦者等）は、大会前の健康観察を確実にいき、発熱や極度のせき・倦怠感などの症状があるものについては大会参加及び会場への入場を見合わせる。

また、会場内においては、感染拡大防止のためすべての関係者にマスクの着用を推奨する。

2 感染者または濃厚接触者が発生した場合

- (1) 大会前及び大会期間中に顧問や部員から感染者または濃厚接触者が発生した場合、学校長の責任のもとで大会の参加を再検討し、場合によっては大会の参加を見送る。
- (2) 大会中に関係者（役員・審判員・補助員・顧問・部員・観戦者等）から感染者または濃厚接触者が発生した場合は、専門部（専門委員会）で協議して該当者または該当チームのみの参加中止か、大会自体の中止かの判断をすることがある。
- (3) 陽性者または濃厚接触者等の判明により大会を辞退しなければならなくなった場合、対戦チームを不戦勝（16-0）とする。
- (4) 大会終了後に新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合、各学校や行政機関（保健所）の指示に従い、専門部（専門委員会）へ連絡をする。

3 大会参加時の留意事項及び感染防止対策

- (1) 他者との身体的距離がとれない場合や感染等の不安がある場合は、各自の判断でマスクを着用する。
- (2) 会場入場時に入口でアルコール等による手指消毒を行うこと。会場内においても、こまめな手洗いや手指消毒を行う。
- (3) 観戦席では、できるだけ座席等の間隔を空けて観戦する。
- (4) 選手への声援、大声での会話等を行う場合は、感染防止のためマスクを着用すること。
- (5) 会場内の換気（窓やドアの常時開放）を徹底する。常時開放ができない場合は一定時間ごとの一斉換気を実施する。
- (6) 更衣室では、交代で更衣を行い、他の参加者と密になることを避ける（障がい者の介助を行う場合を除く）。
- (7) 複数の参加者が触れると考えられる場所（ベンチ、ジャッジーズテーブル、ゴールポスト、フロア等）については、試合終了毎に消毒を行う。
- (8) 感染防止のため、専門部（専門委員会）が決めた措置を遵守するとともに、大会当日も専門部（専門委員会）の指示に従う。